

ライオン学術賞 受賞者一覧

年度	氏名	受賞業績題目(所属)
令和7年 (2025)	田中準一	幹細胞を基軸とした唾液腺再生医療の開発
令和6年 (2024)	樋田京子	がん関連血栓症における腫瘍血管内皮細胞の役割の解明 (北海道大学大学院歯学研究院 口腔病態学分野)
	溝口利英	硬組織修復を司る骨格幹細胞制御機構の全容解明 (東京歯科大学口腔科学研究センター)
令和5年 (2023)	受賞者なし	受賞者なし
令和4年 (2022)	加藤隆史	睡眠時ブラキシズムの病態生理機構の解明 (大阪大学大学院歯学研究科口腔生理学教室)
令和3年 (2021)	篠田雅路	口腔顔面痛メカニズムの解明 (日本大学歯学部生理学講座)
	依田浩子	細胞内外環境による硬組織形成細胞の分化誘導機構の解明 (新潟大学大学院医歯学総合研究科硬組織形態学)
令和2年 (2020)	受賞者なし	受賞者なし
令和元年 (2019)	美島健二	唾液分泌障害の新規治療法の開発 (昭和大学歯学部口腔病態診断科学講座口腔病理部門)
平成30年 (2018)	豊田博紀	大脳皮質における情報処理機構 (大阪大学大学院歯学研究科口腔生理学教室)
	兼松 隆	肥満を制御する新たな分子メカニズムの解明 (広島大学大学院医歯薬保健学研究院細胞分子薬理学教室)
平成29年 (2017)	小林真之	島皮質における口腔顔面感覚の制御機構の解明 (日本大学歯学部薬理学講座)
	小林泰浩	Wntシグナルを基盤にした歯槽骨改造機構の解明 (松本歯科大学総合歯科医学研究所硬組織疾患制御再建学部門)
平成28年 (2016)	阪井丘芳	唾液腺をモデルとした3次元臓器再生技術の開発 (大阪大学大学院歯学研究科顎口腔機能治療学教室)
平成27年 (2015)	受賞者なし	受賞者なし
平成26年 (2014)	西村 理行	骨形成過程における転写制御プログラムの統合的理解の解明 (大阪大学大学院歯学研究科生化学教室)
平成25年 (2013)	寺尾 豊	病原性レンサ球菌の分子解析ならびに感染制御方法の検索 (新潟大学大学院医歯薬総合研究科微生物感染症学分野)
平成24年 (2012)	福本敏	アメロラスチンによるエナメル芽細胞分化制御メカニズムの解明 (東北大学大学院歯学研究科小児発達歯科学分野)
	自見英治郎	Clinical Problemを見据えた転写因子NF- κ Bによる骨代謝調節機構の解明 (九州歯科大学健康促進科学専攻生命科学講座 分子情報生化学分野)
平成23年 (2011)	片桐岳信	BMPによる異所性骨化メカニズムの解明と難病研究への展開 (埼玉医科大学ゲノム医学研究センター病態生理部門)
	石丸直澄	臓器特異的自己免疫疾患の病態解明に向けた多角的研究 (徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部)

平成22年 (2010)	飯村忠浩	骨組織の細胞機能イメージング法による新規の機能解析 (東京医科歯科大学口腔病理学)
	武田弘資	細胞のストレス応答を制御するシグナル伝達機構の解明 (東京大学大学院薬学系研究科)
	谷村明彦	蛍光イメージングによる細胞内カルシウム情報伝達系の研究 (北海道医療大学歯学部薬理学分野)
平成21年 (2009)	吉垣純子	唾液腺細胞における分化の可塑性と機能回復への応用 (日本大学松戸歯学部)
平成20年 (2008)	青木和広	ペプチド創薬の炎症性骨吸収疾患に対する応用と将来への展望 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科)
平成19年 (2007)	山越康雄	象牙質シアロリンタンパク(DSPP)の構造解析—DSPPの象牙質中のプロセッシングとその由来タンパク質の構造について— (ミシガン大学歯学部生体材料科学)
	武田 守	アロデニア発現に関わる三叉神経節内ニューロン間クロストークの役割 (日本歯科大学生命歯学部生理学)
平成18年 (2006)	遠藤隆行	自律神経機能統合中枢、脳幹孤束核細胞、カルシウムチャンネルに対するアンギオテンシンIIの作用(東京歯科大学生理学)
平成17年 (2005)	脇坂 聡	味蕾の形態学的発生と味覚受容 (大阪大学大学院歯学研究科口腔解剖学第一)
	宇田川信之	破骨細胞の起源とその役割 (松本歯科大学口腔生化学)
平成16年 (2004)	新飯田俊平	破骨細胞形成を誘導する新規の骨吸収因子に関する研究 (国立長寿医療センター)
平成15年 (2003)	高田 隆	p27 ^{Kip1} を標的とした口腔癌の遺伝子診断および遺伝子治療法の開発を目指した研究 (広島大学大学院医歯薬総合研究科口腔顎顔面病理病態学研究室)
	網塚憲生	骨代謝因子における形態学的解析 (新潟大学大学院医歯薬総合研究科顎顔面解剖学分野)
平成14年 (2002)	平田雅人	新規Ins(1,4,5)P ₃ 結合性タンパク質の働きに関する研究 (九州大学大学院歯学研究院口腔細胞工学)
	斉藤一郎	ウイルス感染によるシェーグレン症候群発症機構の解明 (鶴見大学歯学部口腔病理学)
平成13年 (2001)	一條秀憲	ASK-1-MAPキナーゼ系による細胞の生と死と分化のシグナル伝達機構解析 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科分子情報伝達学分野)
	前田健康	歯根膜機械受容器に関する形態学的研究 (新潟大学大学院医歯学総合研究科顎顔面解剖学分野)